

擬聲詞和擬態詞的日中對譯問題*

瀬戸口律子

大東文化大學

前言

世界各國的語言雖然各自不同，但是都存在着擬聲詞、擬態詞。日文和中文也不例外。公雞的叫聲，日語用コケコッコー（kokekotsuko），中文用喔喔（wowo）。兩個表達法不同，他們的聲音也相差很大。笑聲和笑的動態，日語一定要加上擬聲、擬態詞才可以。例如：にこにこ笑う（微笑）、にたっと笑う（傻笑）、にやにや笑う（甯笑）、げらげら笑う（呆笑）、くすくす笑う（竊笑）、げたげた笑う（狂笑）。這是因為日語的動態「笑」缺少具體性，必須用擬聲、擬態詞才能具體地表示出來。從這個例子可知道日語中的擬聲、擬態詞數量很多，種類豐富，分得很細；因此對於學習日語的人來說，分辨擬聲、擬態詞，是一個難關。中文的擬聲、擬態詞在數量上遠不如日語的豐富。因此把日語的擬態詞翻成中文時，有的要譯成實詞，有的要譯成虛詞，有的要譯成成語或慣用語等等。

另外，日語的有些擬聲詞，中文是沒有相應的譯法，要想精通日語的擬聲詞在某種程度上比中文難。

我試圖通過日譯漢的譯例，來考察日中擬聲、擬態詞的對譯問題，提出日文和中文在語言上的差異，這就是本文的宗旨。

日中擬聲詞的對比

從修辭的角度來看，用不用擬聲詞，其效果大不一樣。用了它，語言會顯得生動活潑，表情達意也會更具體鮮明。就這一點來說，日語跟中文是一樣的。下面，就通過日譯漢的譯例，來考察一下日中擬聲詞的異同。

一、（日）～っ（と）：（中）～的（地）一聲

* 文章中的例子，都取自《日語擬聲詞·擬態詞辭典》（北京出版社，1991年，瀬戸口律子等譯）。

- [1] ろうそくの火をふっと吹き消した。
 噗地把蠟燭滅了。
- [2] 何か用事を思いついたのか見ていたアルバムをばたっと閉じてた立ち上がった。
 是不是想起了什麼事情，他把正看着的相冊叭地一聲合上後站了起來。
- [3] 足を踏み外し、わっという声とともに転落した。
 一失腳，啊的一聲掉了下去。
- [4] ぱちっとロープが切れた。
 叭的一聲，鋼索斷了。

二、(日)四拍(AB)的重疊：(中)雙音節(AB)的重疊

- [1] 期待のボーナス、胸をどきどきさせながらそっと袋の中をのぞき込む。
 拿着期待已久的獎金，心也撲通撲通跳起來悄悄地看了看袋子裏面。
- [2] 食後歯を磨かないまでもぶくぶくやるだけでだいぶ違います。
 喫飯後即使不刷牙，光咕嘟咕嘟地嗽嗽口也好得多。
- [3] 落雷で大木がめりめり音をたてて裂けた。
 大樹被雷擊得發出咔嚓咔嚓聲音裂開了。
- [4] 枯枝をばきばき折って焚火にした。
 把乾樹枝咯叭咯叭折斷做柴燒。

三、(日)四拍(AB)的重疊：(中)三音節(ABB)

- [1] 洗濯物がよく乾いて、風にはたはた翻っている。
 洗好的衣服都乾了，嘩啦啦地迎風飄蕩。
- [2] 翼を大きく広げた鳥がばさばさとはばたいて林の中から飛び去った。
 鳥展開大翅膀撲嚕嚕地撲扇着從出林中飛走了。
- [3] 弱火にかけたカレーがぶつぶつといい匂いで煮え立っている。
 用微火煮的咖喱，咕嘟咕嘟地冒着香氣。
- [4] 強い風に物干し竿のシーツがばたばた唸っている。
 由於風大，曬在衣桿上的床單，呼啦啦地作響。

四、(日)四拍(AB)的重疊：(中)雙音節(AA)

- [1] 先生はぴりぴりと笛を吹いて、生徒達を整到させた。
 老師嘟嘟地吹着哨子，讓學生們整隊。
- [2] 工場内ではモーターがぶんぶんうなっていた。
 車間裏發動機嗡嗡響着。

[3] テレビ局には抗議の電話が一日中りりん鳴り通しだった。
向電視臺抗議的電話鈴鈴地響了整天。

[4] 風が吹き過ぎると枝に残った枯れ葉がかさかさと音をたてる。
風一吹過，樹上剩下的枯葉沙沙作響。

五、（日）六拍（ABC）的重疊：（中）雙音節（AB）的重疊

[1] ちりんちりんとベルを鳴らし続けながら歩道を自転車を通り抜けた。
叮鈴叮鈴地不斷發出鈴聲，自行車穿過了人行道。

[2] 子供たちは土手つぶちからどぼんどぼんと川の中へ飛び下りた。
小孩子們從堤壩上撲咚撲咚地跳進河裏。

[3] 繩を引くと、天井に吊るしたベル型の鐘がからんからんと鳴り出す。
一拉繩子，掉在頂棚上的那個鈴型的鐘便發出當啷當啷的響聲。

[4] 蠅たたきでぱたんぱたんとちゃぶ台の端をたたいて蠅を追っている祖母。
祖母用蒼蠅拍子巴嗒巴嗒地敲着飯桌邊，在趕蒼蠅。

六、（日）四拍（雙音節AB）の重疊：（中）四音節（A裏BC）

[1] ネックレスの糸が切れて真珠がばらばらと飛び散った。
項鍊的線斷了，真珠稀裏嘩啦地散開了。

[2] 道のない斜面に出たので灌木の下枝をびしびし踏みしだきながら下りてきた。
走到無路的斜坡上，只好劈裏啪啦地踩着灌木的枝葉下了山。

[3] 黒眼鏡の数人の男がどかどかと階段を駈け下りて来て入り口の前に立ちふさがった。

幾個帶着太陽眼鏡的男人稀裏鬚嚙地從樓梯上跑下來，擋住了門口。

[4] 三ヶ月ぶりにギブスを取って足にこびりついた石膏をほりほり落とす。
打開綑扎了三個月的石膏，把粘在腳上的石膏塊，嘩裏啪拉地揭下來。

七、（日）四拍（AB）的重疊：（中）四音節（AABB）

[1] 床をみしみし踏み鳴らしながらその男は部屋を出て行った。
那個男人吱吱嘎嘎地踏着地板，從房間出去了。

[2] 朝食の食器を並べる音がことことと聞こえる。
傳來叮叮當當擺早飯餐具的聲音。

[3] くちゃくちゃ音をたててものを食うなんて下品なやつだ。
呱嘰呱嘰地發出聲音喫東西，真是個粗野的家伙！

[4] 小箱の中にはさいころでも入っているのか振るとかたかたと音がする。
是不是小盒子裏有骰子，動了一下就咯嗒咯嗒地作響。

日語擬聲詞分得很細，中文並不分別的一些例證。

[1] 咚咚

- 心臟がだっだっと激しく打っているのが聞こえる。
聽到心臟咚咚地激烈地跳動。
- 建築現場のどしどしんというボーリングの音がやかましくてかなわない。
工程現場鑽孔的聲音咚咚地吵，難受死了。
- お祭の太鼓の音がどんとどんと響きわたる。
廟會的鼓聲，咚咚地作響。
- 議員の発言が長引くと議長は木槌でとんとんとテーブルをたたく。
議員的發言拖地太長，主席用木槌咚咚地敲打桌子。
- 足音も荒々しくどしどしと二階へ上がって行ってしまいました。
腳步聲很粗魯，咚咚走上二樓去了。

[2] 啦啦

- 子供の尻をびしゃびしゃ平手でたたいてお仕置きする。
用巴掌啪啪地打孩子的屁股，懲罰他。
- ばんばんと両手を打ち、「さあ、大安売りだ」と叫ぶおやじ。
老大爺啪啪地拍着手，叫着“大平賣了”。
- 子ども達が新聞紙を丸めたのを刀がわりにぼかんぼかんと打ち合って遊んでいる。
孩子們把報紙卷成筒兒當刀，啪啪地打着玩。
- 子どもたちは小さな手でぱちぱちと拍手しました。
孩子們不住地啪啪地鼓掌。
- ぼんぼんと手を打って店の者を呼んだ。
啪啪地拍着手招呼店裏的人。

[3] 呼呼

- 今日は木枯らしが一日中ひゅーひゅーと吹いていました。
今天寒風呼呼地颯了一整天。
- 子どもたちは肩でははーはーと荒い息をしながら駆け上がってきた。
孩子們呼呼地大口喘着氣跑上來。
- 薪ストーブがぼーぼーと音をたてて燃えているので、冷えきった体もすぐに温まってくる。
劈柴爐子燒得呼呼聲，冰凍的身體也立刻暖和起來了。

熱があるのか病気の子どもははっはっと苦しそうな息づかいだ。
 可能是發燒了，病孩兒呼呼地喘着氣，呼吸困難。
 メスを当てると黄色いうみがどくどく流れ出して入れ物にたまる。
 手術刀一動，黄色的膿呼呼地流出來，積存在容器裏。

〔4〕 吱吱

小犬はべちゃべちゃと前におかれた牛乳をなめた。
 小狗吱吱地舔着放在前面的牛奶。
 このおんぼろラジオ、ピーピーと雑音ばかりたてている。
 這個破收音機，只會發出吱吱的雜音。
 雛鳥が細い声でひよひよと鳴いて親鳥について行く。
 小雞細聲地吱吱地叫着，跟着母雞走了。
 ねずみが天井裏でちゅーちゅー鳴いている。
 老鼠在天花板裏吱吱地叫。
 ○麦畑でひばりがびーちく鳴いている。
 麥田裏雲雀在吱吱地叫。

〔5〕 撲嚙撲嚙

大きな鳥が木の繁みからばたばたと飛び立った。
 一隻大雞從樹木叢生地方撲嚙撲嚙飛了出來。
 車のギアを入れたがぶるぶると振動するだけで始動しない。
 汽車的擋掛上了，但只是撲嚙撲嚙地響動，却不啓動。
 鳥籠のカナリアが目覚めたのかばさばさ羽ばたきをしている。
 鳥籠裏的金絲雀可能睡醒了，撲嚙撲嚙地扇動着翅膀。
ひゅるひゅるという音がしたので空を仰ぐと、飛行機が真逆さまに山の方へ落ちて行くところでした。
 聽到了撲嚙撲嚙的聲音抬頭看看天空，一架飛機正在翻着跟頭向山上掉下去。
 ベランダにばたばたと飛び込んできた鳩を見ると足にけがをしているようです。
撲嚙撲嚙地飛進涼亭的鴿子，好象腳上受傷了。

〔6〕 咕嘟咕嘟

フラスコの中で熱せられた液体がぼこぼこ泡立っている。
 燒瓶裏面加熱的液體咕嘟咕嘟地起泡。
 酒だるの栓を抜いて、とくとくと出てくる酒を一升ますに受ける。
 把從打開塞子的酒桶子裏咕嘟咕嘟流出來的酒，接在一升的容器裏。

- 空き瓶を池にほうり込むとぶくぶく沈んで行った。
- 空瓶扔進池子裏，就咕嘟咕嘟沈下去了。
- 池の面に大きな泡が一つぷくと浮かんで割れた。
- 池面上一個大泡咕嘟咕嘟地鼓出來，又破滅了。
- 弱火でぼこぼこ泡のたつ程度でしばらく煮る。
- 用微火咕嘟咕嘟地煮一會兒。

[7] 嘩啦嘩啦

- 少し風が出てきて舟べりを波がひたひたとたたく。
- 微微起了點風，波浪嘩啦嘩啦地拍擊着船舷。
- 激震、見る間に家はめりめりと音をたてながら崩れ落ちた。
- 強烈的地震，轉眼之間房子就嘩啦嘩啦地倒下去了。
- よちよち歩きの子どもが持ち歩くカップの中で牛乳がちゃぼちゃぼ揺れている。
- 牛奶從腳步不穩的小孩子拿着的杯子中，嘩啦嘩啦地晃動着。
- 電車が着くと、新聞の包みがどさとホームに投げ出される。
- 電車一到，一捆捆的報紙就嘩啦嘩啦地扔到月臺上。
- 風呂場から湯をぼちゃぼちゃかき回す音が聞こえる。
- 聽到浴池裏嘩啦嘩啦攪動熱水的聲音。

中文用一個擬聲詞日語卻分別用好幾種擬聲詞。中文顯然比日語的擬聲詞數量少，但是中文也可以區別聲音變化。例如：りんりん鳴くのは鈴虫、ちんちろりんは松虫、ころころはこおろぎ、がちゃがちゃ鳴くのはくつわ虫。

這首詩歌特別顯示出昆蟲聲音的不同，把它翻譯成中文唧唧叫的是金鈴子，唧鈴叫的是金琵琶，嘟嘟叫的是蟋蟀，吱吱叫的就是紡織娘。由此來看，日語往往根據昆蟲的種類，叫聲也不同。總的來說，對於動物、鳥類、蟲類之叫聲，日語分別的很細。再從語法方面來看，日語的擬聲詞雖然做為副詞性的修飾語，但是它的功能基本上是形容詞性的修飾語。

日中擬態詞的對比

中文的擬態詞跟日語比較的論著極少。原因之一可能由於動詞方面的差異。

中文的動詞表示出比較具體、詳細的動作。比如；看(見る)；盯(まじまじ見る)；瞪(じろっと見る)；瞭(さっと見る)；瞟(じろじろ見る)；瞥(横目でちらっと見る)；盼(きっと見る)。中文純粹的擬態詞很少，這是一般的說法。但狀態詞(形態副詞)，熱乎乎、靜悄悄、冷靜靜、酸溜溜、綠油油、乾巴巴、黑忽忽等的ABB的形式也可以說是擬態詞。一般說來做為擬態詞以三音節重疊的形式為最多。此外津津有味、忽

忽不樂、赫赫有名、氣息奄奄、彬彬有禮、侃侃而談等的四音節的成語，它們雖然不是完整的擬態詞，可是這樣的四字成語中卻含有擬態的語素。有的學者認為，中文本來一字有一個意思，加上補充的詞素即具有限定的功能，因此中文的擬態詞不屬於真正的擬態詞，乃屬於半擬態詞。到現在為止，對於中文的擬態詞還沒有一個統一的說法。

一、（日）擬態詞：（中）AABB

- ①暑さで頭がぼーっとなって硬い本などとても読めない。
因為太熱，腦袋迷迷糊糊的，無法看哲理性的書籍。
- ②あの人の盗むところをはっきりとこの目でみたのです。
那個人偷東西的時候，我親眼看得清清楚楚的。
- ③子どもが生まれたという電話であたふたと会社を飛び出して行った。
接到孩子出生了的電話，慌慌張張地跑出了公司。
- ④ぶらりと上京してきて、ずるずる一か月も居続けた。
毫無目的地來到東京，拖拖拉拉住了一個月了。

二、（日）擬態詞：（中）ABB

- ①ぽかぽかと春の日ざしの射し込む窓辺に編み物をする。
在暖洋洋的春光照射進來的窗旁織着毛線。
- ②体重はないけれどぶくぶく太っている。
體重不那麼重，但是顯得胖呼呼的。
- ③何をやらせても不器用で要領が悪くてもたもたしている。
他做什麼事情都笨手笨腳的，不會找竅門，總是那麼慢吞吞的。
- ④生徒達はどやどやと職員室に入ってきて校長を取り囲んだ。
學生們鬧哄哄地進了教員辦公室，把校長圍了起來。

三、（日）擬態詞：（中）成語

- ①交通機関にストをやられると会社に着くまでにへとへとになっちゃうよ。
交通部門罷工了，走到公司會累得精疲力盡。
- ②観衆は手に汗を握りときどきしながら空中サーカスに見入っている。
觀衆都捏了一把汗，提心吊膽地注視着空中的雜技表演。
- ③惨敗。まったくけちんけちんの目にあつた。
慘敗，完全被打得一敗塗地了。
- ④船酔でみんなぐんなりとなって青息吐息。
因為暈船，大家都無精打彩地一籌莫展。

四、(日)擬態詞：(中)AA

ぼこっと目がくぼんでいるような老人が出てきた。

眼睛深深下陷的老人出來了。

青空に綿雲がふんわり浮かんでいる。

在藍色的天空上雲彩輕輕地飄動着。

まだ生まれて二ヶ月ですから見えはしないのですが、目をぱっちり開けて私を見ているときがあるんです。

剛生下來只有兩個月，可能還看不見東西，但是有時把眼睛睜得圓圓的盯著我。

さすがに一流ホテルだ。どこもふかふかしたじゅうたんが敷き詰めてある。

真是個高級飯店，到處都鋪着軟軟的地毯。

五、(日)擬態詞：(中)形容詞

小さい時からはきはきして利発な子どもだった。

從小就活潑機靈的孩子。

アメリカ滞在七年、英語がぺらぺらになって帰国した。

在美國住了七年，練成一口流利的英語回國了。

うちの祖父は今年90になりますが、病気ひとつせずぴんぴんしています。

我祖父今年九十歲了，但是很硬實，沒什麼病。

国産車といってもどうしてなかなかばんとした車だ。

雖說是國產汽車，可倒非常華麗。

六、(日)擬態詞：(中)副詞

朝四時、ぼつぼつと人が起き出してくる。

早晨四點，人們漸漸都起來了。

いい加減にあしらず、ばしと断った方がいい。

別馬馬虎虎地應付，還是斷然謝絕了的好。

タイプライターの音がぱたとみ、秘書らしい女性がドアを開けた。

打字機的聲音忽然停了下來，一位秘書模樣的女人開了門。

彼は大学出たてのほやほやだから、仕事をそんなに期待するのはむりだな。

他剛剛從大學畢業，在工作上對他馬上就抱很大期望是不現實的。

七、(日)擬態詞：(中)多半用從擬態詞發展出來的詞語

ネクタイを結びもせず、だらと下げたまま客の応待に出る。

領帶也不打，滴裏當地掛在脖子上就出來迎接客人。

消防車からひゅるひゅると梯子が伸びてビルの窓にかけられた。

梯子從消防車噲噲地伸出，掛在大樓的窗戶上。

選手達は出された物を片っぱしからぱくぱく平らげた。

選手們把人家拿出來的東西一個接一個地呼嚕呼嚕地全吃光了。

ストーブを近づけたとたんフィルムはめらめらと燃えてしまった。

把爐子一拉過來，膠卷就呼呼地燒起來。

気温が上がると松の枝の雪がどさどさ落ちてうず高く積もった。

氣溫上昇，松枝上的雪嘩嘩地落下來堆積起來了。

ふたを開けて、セロハン紙をぴりぴり破ってチョコレートを取り出す。

打開蓋子嘩嘩地撕破玻璃紙，拿出裏面的巧克力。

一足ごとにばさりばさりと音をたてて村人もめったに入らない深い森林を進む。

每走一步就發出嘩嘩的聲音，向着連村民也很少進去的森林走去。

結語

日語與漢語屬於兩種不同的語系，在遣詞造句、表情達意上當然不盡相同。這表現在擬聲詞和擬態詞上，也不例外。所以他們的相同可能由於語言學上共同規律或者出於偶合。它們的不同則是很自然的。不同的原因主要是：

一、日語擬聲詞多有專指性。而漢語同一個擬聲詞，可以用來表示多種不同的聲音，不如日語擬聲詞的確切。例如：

この雨はもう一週間もびしょびしょ降っている。

這場雨已經嘩嘩地下了一周了。

頭からシャワーをぢーぢー浴びて、汗を流す。

打開淋浴器，從頭上嘩嘩地澆水，沖沖汗。

激しい雨が一晚中どしゃどしゃと降りつづいた。

猛烈的雨嘩嘩地下了一個晚上。

二、漢語表示動作的動詞分化得很細，同一種動作的不同動態，可用不同的動詞來表示，故擬態詞比較少。日語的表示動作的動詞多是概括性的，必須用表現動態的擬態詞才能具體化，所以日語的擬態詞比漢語多。例如：

ぶらぶら歩く；閑晃、打溜、轉溜、轉晃、轉悠、散逛、走溜、逛蕩、逛街、遛腿兒、閑溜、閑逛。

(ふんぶん、かんかん、ぷりぷり、かっど)怒る；氣火、嘔火、動火、堵氣、發熱、掛火、掛氣、光火、害氣、嗔心、氣崩、急火、火發、激火、火暴。